

鼓童

2017

Summer

vol. 367

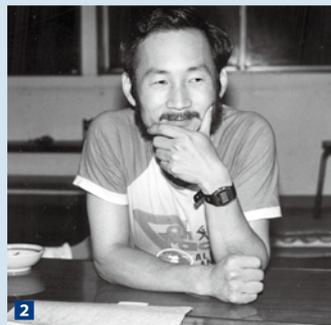
KODŌ

| 特集 | EC30周年

アース・セレブレーションによって
生み出されたもの



- 1 インドネシア、セネガル、ガーナからゲストを招いたEC10周年。
- 2 アース・セレブレーション構想を打ち出した河内敏夫（愛称ハンチョウ）。
- 3 城山公園でのハンチョウの追悼公演「鼓童スペシャル」。
- 4 稽古場棟の基礎をステージとした鼓童村開村記念コンサート。



「特集」EC30周年

話 菅野敦司

構成 岩村文雄（ライター）、編集部

「アース・セレブレーション」によって

生み出されたもの

佐渡が鳴ってる。夏が来る。今年で30回目となるアース・セレブレーションがまもなく幕を開ける。節目となるこの機会に、この30年を振り返り、アース・セレブレーションによって生み出されたものを考えてみたい。

1981年に結成された鼓童は、自分の活動拠点づくりに向けて「鼓童村構想」を83年に発表。この村とは、「人が群れる場所」という意味だ。「村」での活動の柱は、公演活動で世界に出ていくことと佐渡に世界の人たちを迎える「国際交流」、塾や祭を通して佐渡の文化を振興していく「地域振興」の2つ。この中で、佐渡に世界の音楽・芸能が集い、自然の中の文化交流、人間交流を通じて地球規模のきずなを深めようと企画されたのが、アース・セレブレーション（以下EC）という芸術祭である。

フェスティバルではなく「セレブレーション」としたのは、一過性のイベントで終わらせたくないという思いがあったからだ。セレブレーションは祝祭、寿ぐという意味合いがあり、佐渡の地に根ざした祭りのイメージをセレブレーションという言葉で表したのである。招待するゲストは、鼓童がワン・アース・ツアードで世界を巡る中で出会ったアーティストを、佐渡で紹介したいという思いで選んだ。ちなみに「EARTH」という単語には、

「東京と大阪だけでは追悼にならないんじゃないか。佐渡でやってこそ追悼になる」と、当時ハンチョウとともにECの準備を進めていた菅野敦司は考え、後にECのメイン会場となる、緑に恵まれた城山公園でハンチョウの追悼公演が実現した。城山というすばらしい環境を見出せたこと、翌年からのECに向けて予行演習ができたことは大きな収穫でもあった。

人との再会を楽しみに 来る人も多かった

鼓童の「佐渡の方々と一緒にやりたい」という提案を小木町(当時)が受け入れ、ECは共同で開催することとなった。町が管理する公園や施設、備品を無償で提供してもらえたのは、開催を続けていく上でも大きな支援だったことは間違いない。

1988年8月15〜22日、鼓童村での「開村記念コンサート」を皮切りに、8日間のECが幕を開けた。日本人客に加えて予想以上にたくさん外国人客が来場した。会場となった小木地区の地元の受け止め方はどうだったのだろうか。

「町場としてはECを明確に受け止めていなくて、いきなり外国の方が大勢来られ驚きの連続でした。格好はワイルドなんですけど、皆さん礼儀止しく並んでくれるんです。当時から『レジ袋はいらない』と、はっきり意思を示して、清々しい感じでした。悪い思い出しはないですね。お客さんは何年も来られる方ばかり。人と会うのを楽しみにしていた方が多かったですね。いい時間が流れるんですよ、ECの期間中は」と、小木で商店を営む岡崎拓夫さんは当時を振り返る。当初は外国人客ばかりだったものの、徐々に日本の若い女性が訪れるようになり、訪れる人の数も増えていった。

ECは最初から完璧に計画されていたわけではない。国際交流や地域文化の振興といった明確な目的に沿いながら、新たな発見や失敗を繰り返しながら育てていったのである。佐渡の人たちにとって鼓童は

「旅のもん(者)」であり、いつまたいなくなるかわからないと思われても仕方ない存在。ECは、拠点をきちんと構え、佐渡ですつとやつていくことへの意思表示でもあったのだ。

世界から招いたゲストと共演することで、鼓童自体も新たな演奏方法を生み出した。例えば、今では普通になった桶太鼓を担いでの両面打ち。これは韓国のサムルノリと共演したことで生まれた打法である。

ECは第1回から、城山コンサートの他にも、ゲストを招いての対談や講演会など、さまざまな催しを行っている。「ワークショップ」という言葉がまだ一般的ではない時代に、様々な体験を共有し学べる場を提供する企画が好評を博していた。

初期のエネルギーを 維持するのは容易ではない

アース・セレブレーションを見にきて佐渡に魅了され、すぐに移住を決意したマーク・ソトさん。ECを軸に生活が回っていたという彼に、当時の佐渡、ECの初期のの様子について聞いた。

「インプレッションがよかった。佐渡は何でもあるし、インディペンデントだね。だから、すぐに移住を決めたんだ。ECとの関わりは、最初埠頭公園でTシャツを販売したんだけど、見ると食べもの屋さんが全然ない。それで、私たちは野菜を育てて、カレーを作って販売したんです。パーもやつた。当時は雰囲気魅了されて来る人がいっぱいいたと思う。ライブが終わっても下でセッションやつたり。おもしろかったよ。



- 5 第1回のゲスト山下洋輔さん。EC10周年、20周年にも出演いただいた。
- 6 小木町役場(当時)の中心スタッフと鼓童とともに。
- 7 第1回のゲスト「ドラマーズ・オブ・ブルンジ」と共に踊る佐渡の皆さん。
- 8 鼓童の新たな打法のきっかけとなったゲスト「サムルノリ」(韓国)。
- 9 小木の方々とともに木崎神社に田楽ちょうちんを飾る。



でも、途中からエネルギーが変わった。規模が大きくなってくると、前のエネルギーをキープするのが難しい。ハーバーマーケットも情熱を持ったクラフト的な人が少なくなつたのは残念。ただ、佐渡にいる人は、チャンスにして欲しいよ」。

第1回は8日間の開催で、採算面では赤字だった。運よく快晴に恵まれたものの天候のリスクもある。こうした反省を踏まえて、2年目は4日間、3年目からは週末の金・土・日の3日間の開催に落ち着き、採算面でも見合うようになった。

ただ規模を拡大させていくだけでなく、城山コンサートのあり方やECの形を見直すことも度々行ってきた。1994年には200人ほどが入れる仮設テントを町のなかにたてて、3週間のプレイベントを実施。1998年には初めて春(5月)に開催。城山に小さなステージと、無料で入場できるオープンスペースを作った。

2004年には旧市町村が合併によって一つになり「佐渡市」が誕生。行政との関わりも変わってきた。地域振興を佐渡全体に広げようと、昨年は初の試みとして、城山コンサートを行わず、拠点を各地に設けて佐渡の魅力発信するプログラムを増やした。そして鼓童も佐渡各地のイベントに多く参加した。佐渡の地域振興という面では、かなり大きな役割を果たせるようになってきたのではないだろうか。

ただ、多くの人たちが核となる鼓童の演奏を楽しむに来るのも事実で、課題も見つかった試みとなった。

30年を機に 新たに生まれ変わるEC

愛知県出身の藤田みらいさんもECをきっかけに佐渡が好きになり移り住んだ一人だ。「海が青くきれいで、いいところに来たなという感じでした。手仕事をされている方が身近にいて、昔ながらのものも残っている。暮らしを学びたいと思っただけです。移住後は右も左もわからなかったけど、世話を焼いてくれる方が多く、ホームシックにならなかつたので自分でも驚いています」手ぬぐいのデザイナーとしてハーバーマーケット出店の手伝いで来たのが、鼓童やECとの初めての出会いだった。佐渡にすっかり魅了されたという。現在も「佐渡手ぬぐい」の制作を続けており、おみやげにしてみられればと、毎年少しずつデザインを増やしている。

ECの初期を知る人たちの口からは、当時の自由さや突発的に起こるパフォーマンスの魅力と出が語られる。最初は純粋にECを楽しんでいたと思うが、規模が大きくなればルールや効率化は避けられない。30年の節目を前に、昨年からは新たに生まれ変わったEC。今年は3夜連続の「ハーバーマーケットライブ」や多彩なワークショップはもちろん、小木周辺を楽しむ企画や佐渡体験プログラムが用意されている。

成功したことや反省点などを踏まえながら、ECは次の30年に向けて新たな歩み始める。30年後はどんなECになっているだろうか。多くの人たちが参加し、より魅力あるセレブレーションになっていることを期待したい。



10 マーカス・ソトさん。現在、天然酵母で作るパン屋をご夫妻で営んでいる。



11 春に開催した1998年。ゲストはレッド・ウィロー・ダンサーズ(アメリカ)。

12 1994年に行われた「テント劇場」。会場は現在のあゆす会館横(当時、空き地)。

13 藤田みらいさん。1児のママとして佐渡に暮らしている。

14 昨年(2016年)の送り太鼓の様子。年に1度の再会を誓う場面となっている。



地代 純 じだい じゅん

- Q1. 何か面白いことをしたいなど漠然と思っていた高校生の時に、親た鼓童の舞台がすごくカッコよくて惹かれてしまったから。
- Q2. 乃木坂46
- Q3. オンオフがはっきりしている。
- Q4. 気心の知れたこのメンバーでしか作り出せない何とも言えない空気感を是非生で感じていただきたいです!
- Q5. 今を時めき、煌めく20代11人が表情豊かに演奏します!

池永レオ遼太郎 いけなが れお りょうたろう

- Q1. 何不自由なく生きてきた自分を追い込みたくて研修所に応募しました。我儘を許してくれた家族に只々感謝です。
- Q2. 鼓童村の梅酢が美味しいです。
- Q3. 超マイペース大雑把
- Q4. 演者一人一人がキラッと輝ける演出を目指しています。この機会に若手全員の名前と顔を覚えて頂けたら幸いです!
- Q5. お客様あつての演者です。これからもどうぞ末永く宜しくお願い致します。

今月の 鼓童メンバー

毎回、鼓童メンバーの素顔をご紹介しますこのコーナー。
2回目となる今回は、出演メンバーが全員20代という若手の意欲作、ECシアター「鼓童若手連中」から5人に登場してもらいました。

- Q1. 鼓童に入ったきっかけは?
- Q2. 最近はまっていること、マイブームを教えてください。
- Q3. 自分の性格を一言であらわすと?
- Q4. ECシアター「鼓童若手連中」に向けて臨む意気込み、見どころを教えてください。
- Q5. 読者の皆様へ向けて一言お願いします。



大塚 勇渡 おおつか はやと

- Q1. 高校生の和太鼓部を引退した後、舞台と和太鼓を諦めきれなく、一度この世界に懸けてみたいと思ったのがきっかけです。
- Q2. アロマです。何かオススメがあれば教えてください(笑)
- Q3. 慎重
- Q4. 「鼓童若手連中」として今、自分たちができることを、ガムシャラに。そんな私達の姿を見ていただけると、幸いです。
- Q5. ご愛読頂き、ありがとうございます。日々修行と思い、これからも頑張ります!

米山 水木 よねやま みずき

- Q1. 2歳の頃から地元で盆踊りの太鼓と出会い、小学生で初めて鼓童の舞台をみて、一人の女性奏者に憧れました。
- Q2. 人生で「大きな買いモノ」を、最近しました。普段から目にする「モノ」を観ると、気になり調べちゃう!
- Q3. 負けず嫌い。大ざっぱ。
- Q4. 初めて、若手のみで挑む舞台です。お客様が、「明日からまた、頑張ろう! よっしゃー!」そんな気持ちになるように、打ち込みます。
- Q5. 暑さに! 自分に...負けず! 笑顔で! 力強く! これからも、よろしく願います!

北林 玲央 きたばやし れお

- Q1. 小学生から太鼓をやっていましたが、何もかもが圧倒的なものを鼓童に感じたからです。
- Q2. お酒。普段の稽古や生活では見つけられないものや感じれないことを、知ることが出来たり、共有する事が出来るから。言い訳です(笑)
- Q3. めんどくさがり
- Q4. どんな空間が出来るか自分達でもわかりませんが、楽しんで行きたいと思っています。
- Q5. 僕がお客さんの頃ECで感じたものを、今度は発信出来るように、精進して参ります。これからもよろしく願います。

ECシアター「鼓童若手連中」



池永レオ遼太郎が初演出するEC注目の舞台。新曲から定番の演目まで、メンバー一丸となって創り出す、若さ溢れるフレッシュな舞台をお楽しみください。

日時:8月19日(土)14:30 開場/15:00 開演(16:30 終演予定) 会場:宿根木公会堂
演出:池永レオ遼太郎(鼓童) 出演:鼓童(地代純、三浦康暉、渡辺健吾、池永レオ遼太郎、大塚勇渡、北林玲央、三浦友恵、米山水木、小平一誠、木村佑太、山脇千栄)

<https://www.earthcelebration.jp/> アース・セレブレーション実行委員会 Tel. 0259-81-4100



今回は、21世紀の鼓童を語る上で欠かせない曲「巴」をご紹介します。

(写真：岡本隆史、宮川舞子、井出情理)

曲のなりたち

2003年、坂東玉三郎氏が初めて鼓童の演出をてがけた「鼓童ワン・アース・ツアー スペシャル」にて生み出され、以降、「ワン・アース・ツアー」や「打男 DADAN」などでも曲目入りする2000年代の鼓童を代表する演目。

「鼓童ワン・アース・ツアー スペシャル」は、今までの鼓童の枠を外し新たな可能性を見出した、現在の鼓童へと続く礎とも言える作品で、その作品において「若い演奏者のために新しく作った」という演目が「巴」である。初演メンバーは今海一樹、小田洋介、石塚充。作品の中において、まさに若者の息吹がほとばしる曲として鮮烈な印象を残した。

曲は3台の平胴太鼓を伏せた形で演奏されるが、玉三郎氏が視覚的に奥行きのある配置に構成した。3人の演奏者が背中合わせに立ち、「巴」というタイトルのごとく、激しく打ち込みながら渦を巻くようにボジションをチェンジしていく。ソロやユニゾンなど3人の呼吸と絶妙な間合いが試される重厚かつ見応えのある演目である。

曲の制作過程においては、当初真ん中を中心に前に向きあっていた。それを玉三郎氏の「背中合わせにしましょう」という言葉により、演奏者も次々とアイデアが出てきたという。今に続く玉三郎氏の発想の真骨頂と言える。

「巴」から派生した曲

また、「巴」が生まれたからこそ派生した曲がある。「p.p.c」や「あじやら」だ。

「巴」の発展形で「あじやら」ができたんです。ニュアンスとか音色とか動きをつけて作りましよう」と玉三郎さんから話があつてできたのが「あじやら」。これはアマテラスに向けて作っていきました。「p.p.c」も、2005年、春のワン・アース・ツアーの作品づくりにお



いて、演出の金子竜太郎さんより「巴」の3人（船橋裕一郎、小田洋介、石塚充）で面白いものを作ってほしいという依頼がありました。あの激しい3人が同じ公演の中で面白いコミカルなものを作ってほしいと。それでツアー中に「巴」をやりながら、3人でいろいろ考えてできたのが「p.p.c」でした（船橋裕一郎）

若手にとつての「巴」

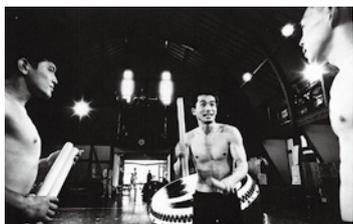
「巴」は若手がチャレンジする曲でもあり、研修生も稽古に取り入れている。

「巴」が出すエネルギーって、今持っている力をすべて注ぎ込んで、それを3人でせめぎ合ってる面白さがありますよね。玉三郎さんが意図したところの若手がチャレンジする曲という意味合いを今すごく実感としています。また、「巴」はツアーの中で何度も演奏することによって、舞台映える体つきになつていきます。体を使うようになるし、体使わないと音も出ないです。また、研修生にとつても良い練習になります。大きな太鼓をうちおろすという打ち方の基本を学ぶことができます。（船橋裕一郎）

坂東玉三郎氏によって生み出された「巴」。舞台上で演奏される曲というだけで終わらない、鼓童の次世代を紡ぐ橋渡しともいうべき一つの大きな演目ともなっている。



新たな作品に向け、玉三郎氏は何度も来島。メンバーそれぞれと向き合った(2003年7月)。



初演メンバーの3人。初演から14年経つが、今も若手にとつて「挑戦」する曲となっている。

第2回

宮本常一が関わった鬼太鼓座とその後

鼓童と佐渡とのつながり

ライター
岩村文雄

鼓童を語るうえで欠かせない人物がいる。民俗学者の宮本常一(1907~1981)である。宮本は全国をくまなく歩いて土地の人と話し、見逃されてきた日常の風景や人々の暮らしを記録。佐渡にも通算50回近く訪れ、民俗調査以外にも離島の振興やおけさ柿栽培の奨励、宿根木の町並み保存などに尽力した。

鼓童の前身、佐渡の國鬼太鼓座(以下鬼太鼓座)の誕生にも、大きく関わっている。のちに鬼太鼓座を創設する田耕が、佐渡農業高校の教師だった本間雅彦と会ったのが1954年。会うことを勧めたのが宮本だった。本間は佐渡のほとんどの若者が島外に出ていくことで、佐渡の豊かな民俗芸能が途絶えてしまうことに危機感を抱いていた。田と出会い、佐渡の伝統芸能や職人の技術を学ぶ学校を創れないかと、語り合ったのだ。

三人の想いが形になるのが70年。佐渡で「おんでこ座 夏期学校」が開かれることになり、宮本が校長となった。この時に集まった若者の中から結成されたのが鬼太鼓座である。東京や関西の文化人、企業人らによる支援の輪が広がるとともに、活動の資金集めをするため、和太鼓の演奏活動を行うという方針が決まった。

しかし、方向性の違いから田とメンバーとの間に亀裂が生まれ、解散という文字もチラつき始めた。メンバーは78年の暮れ、武蔵野美術大学の宮本のもとに相談に行く。

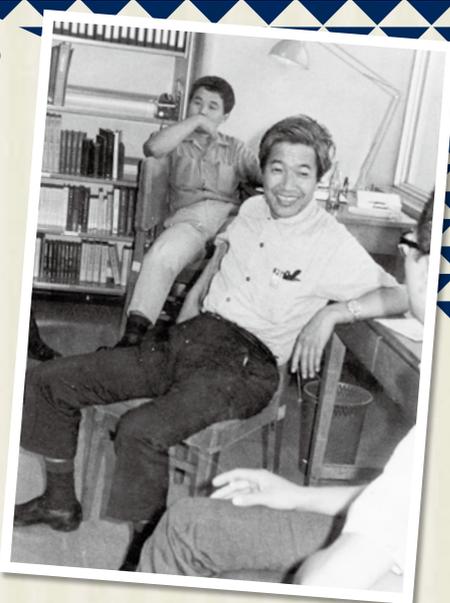
「外国の文化を受け入れるような素地を国の中に作っていかなきゃならないんじゃないか」、「君たちが太鼓たたいておるばかりでなく、ある年令になって、その組織者になる、先生になる、あるいは文化運動のリーダーになっていく」、「仲間がいることを意識するってことが、非常に大事なことになる」、「体験の場としての佐渡っていうものを固めていきゃあいいんじゃないか。一つの塾なり、学校なりへ成長していく。」など、宮本は地域社会の生活文化と芸能とのつながり、そこに住む若者がいきいきと生きることの大切さを説き、鬼太鼓座の解散を踏みとどまらせた。メンバーは改めて心をつにし、佐渡に残ることとなったのである。そして、81年にメンバーは田と別れ、新たに鼓童を結成した。この年の1月、宮本は亡くなっている。

「私は鼓童村構想に惹かれて佐渡に来たのですが、どこからそうした発想が生まれたのかわからなかった。そんな時、鼓童の本棚に宮本常一全集があり、読んでいくうちに私たちの活動の基盤には宮本先生の考えが生きていることがわかってきたのです」。鼓童文化財団の菅野敦司は、鼓童の背景に宮本の思想があることを説明する。

戦後の高度成長期に近代化が進む中で、日本人がもともと持っていたアイデンティティが失われていくことに、宮本は危機感を抱いていた。そのことが、鬼太鼓座メンバーに説いた言葉になったのかもしれない。

『旅のもん(者)』である鼓童が持つ外からの視点も、佐渡の地域振興

には必要だと思います。鼓童文化財団を作ったのも、そうしたことが目的。財団が20年となる今、それを具体的な形にしていきたいと、菅野。鼓童というと国内外での演奏公演に注目が集まりがちだが、そもそも太鼓を持って世界を旅して演奏活動を行っているのは、佐渡に学校を作る資金集めのためだったとは。鼓童と佐渡とのつながりを考える上で、その根底に流れる宮本常一という人物の足跡にぜひ触れてみてほしい。



上:1987年12月22日、宮本先生を訪ねた鬼太鼓座メンバー(武蔵野美術大学民俗資料研究室にて。撮影:ジョージ高知)。

下:宮本常一と鬼太鼓座座員、佐渡国小木民俗博物館関係者とともに(1976年頃。撮影:川崎和彦)



鼓童の会会員先行予約について **先**印の公演は先行予約があります。会員の皆様には先行予約申込書を同封しておりますのでご確認ください。

鼓童公演

坂東玉三郎×鼓童特別公演
「幽玄」

9/2(土)-18(月・祝) [11(月)休演]

福岡県福岡市

博多座 14:00開演

A席16,000円、特B席13,000円、
B席10,000円、C席5,000円

博多座電話予約センター Tel. 092-263-5555

9/21(木)-23(土・祝) 京都府京都市

ロームシアター京都メインホール

21日 18:30開演 22、23日 14:00開演

S席14,000円、SB席12,000円、A席10,000円、
AB席8,000円、B席5,500円、C席3,500円

南座 Tel. 075-561-1155

「打男 DADAN 2017」

10/3(火) 北海道札幌市

札幌コンサートホール Kitara 18:30開演

S席5,500円、A席5,000円

道新プレイガイド Tel. 011-241-3871

10/7(土) 岩手県奥州市

奥州市文化会館Zホール 14:00開演

全席5,000円 高校生以下3,000円

キョードー東北 Tel. 022-217-7788

奥州市文化会館 ZホールTel. 0197-22-6622

10/8(日) 青森県青森市

リンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)

17:00開演 S席6,000円、A席4,000円

キョードー東北 Tel. 022-217-7788

10/12(木) 宮城県仙台市

東京エレクトロンホール宮城 18:30開演

S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円

キョードー東北 Tel. 022-217-7788

10/14(土) 福島県白河市

白河文化交流館コミネス 16:30開演

一般5,500円、学生券3,000円

鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

10/15(日) 山形県山形市

シベールアリーナ 16:00開演 全席5,000円

シベールアリーナ Tel. 023-689-1166

10/18(水) 千葉県習志野市

習志野文化ホール 18:30開演

全席5,500円

習志野文化ホール Tel. 047-479-1212

10/21(土) 東京都福生市

福生市民会館 16:00開演

一般6,000円、高校生以下3,500円

福生市民会館 Tel. 042-552-1711

10/22(日) 千葉県旭市

千葉県東総文化会館 17:00開演

全席5,500円

千葉県東総文化会館 Tel. 0479-64-2001

10/25(水) 香川県観音寺市

ハイスターホール(観音寺市民会館) 大ホール

18:30開演 全席5,500円

デューク Tel. 087-822-2520

10/28(土) 広島県廿日市市

はつかいち文化ホールさくらびあ 14:00開演

S席6,000円、U-25チケット4,000円

TSS事業部 Tel. 082-253-1010

(平日10:00~18:00)

11/1(水) 長崎県佐世保市

アルカスSASEBO 18:30開演

S席5,500円、A席4,500円

アルカスSASEBO Tel. 0956-42-1111

11/4(土) 福岡県北九州市

北九州芸術劇場 16:30開演

S席5,500円、A席5,000円

鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

11/8(水) 京都府京都市

ロームシアター京都 メインホール

14:00開演 全席6,000円

鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

11/11(土)-12(日) 大阪府大阪市

新歌舞伎座 11日 17:00開演/12日 13:00開演

S席6,000円、A席4,000円、特別席8,000円

8/21(月) チケット発売

新歌舞伎座 Tel. 06-7730-2222

11/18(土) 神奈川県相模原市

相模女子大学グリーンホール 14:00開演

全席5,300円 8/19(土) チケット発売

チケットMove Tel. 042-742-9999

11/19(日) 神奈川県横須賀市

よこすか芸術劇場 17:00開演

S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円

学生券(※全席種半額)4才~24歳の学生

横須賀芸術劇場 Tel. 046-823-9999

11/21(火) 愛知県名古屋市中区

愛知県芸術劇場 大ホール 18:30開演

S席6,500円、A席5,500円、B席4,500円

9/16(土) チケット発売

中日劇場 Tel. 052-263-7171

11/23(木・祝) 福井県福井市

ハーモニーホールふくい 大ホール 16:00開演

一般5,000円、学生(小学生~大学生)2,500円

8/26(土) チケット発売(窓口・PG)

ハーモニーホールふくいチケットセンター

Tel. 0776-38-8282

11/27(月) 新潟県新潟市

新潟県民会館 18:30開演

S席6,000円、A席5,000円

TeNYチケット専用ダイヤル Tel. 025-281-8000

11/30(木) 新潟県佐渡市 **先**

アミューズメント佐渡 18:30開演

S席5,000円、A席4,000円

※学生(小~高校生)は当日2,000円返金あり。

9/15(金) チケット発売予定

鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

12/7(木) 埼玉県鴻巣市

鴻巣市文化センター(クレアこうのす)

18:30開演

S席6,000円、S席学生3,000円、A席5,000円、

A席学生2,500円 9/2(土) チケット発売

クレアこうのすチケットセンター

Tel. 0570-666-534

12/9(土) 埼玉県越谷市

サンシティ越谷市民ホール 14:00開演

S席6,000円、S席学生3,000円、A席5,000円、

A席学生2,500円 8/27(日) チケット発売

チケットポート Tel. 03-5561-9001

12/13(水)-14(木) 神奈川県横浜市

神奈川県立音楽堂

13日 18:30開演/14日 14:00開演

全席6,000円 9/2(土) チケット発売

tvkチケットカウンター Tel. 0570-003-117

12/16(土) 静岡県三島市 **先**

三島市民文化会館 大ホール 14:30開演

一般5,400円、高校生以下3,000円

9/2(土) チケット発売

イーストン Tel. 055-931-8999

12/17(日) 静岡県浜松市 **先**

浜松市浜北文化センター 16:30開演

一般5,400円、高校生以下3,000円

9/2(土) チケット発売

エンボス Tel. 053-412-1010

12/20(木)-24(日) 東京都文京区

文京シビックホール 大ホール

12/20のみ 18:30開演 12/21-24 14:00開演

S席7,000円、A席5,000円 9/10(日) チケット発売

チケットスペース Tel. 03-3234-9999

料金はすべて税込み、特に表記の無いものは全席指定席、未就学児の入場は不可、発売日表記のないものは発売中です。

鼓童サイトの公演スケジュールのページから各公演会場の情報サイトにリンクしています。どうぞご利用ください。

アース・セレブレーション2017

8/18(金)-20(日)新潟県佐渡市

◎ハーバーマーケットライブ 他

鼓童交流公演

9/2(土)新潟県胎内市

胎内市産業文化会館 14:00開演

9/3(日)新潟県長岡市

長岡市寺泊文化センター 14:00開演

9/23(土・祝)新潟県柏崎市

西山ふるさと館 14:00開演

9/24(日)新潟県上越市

はーとびあ中郷 14:00開演

4公演共通

全席自由 2,000円(当日500円増)

中学生以下無料(要入場整理券)

※5歳未満入場不可

公益財団法人 新潟県文化振興財団

Tel. 025-228-3577

9/9(土)東京都文京区

ぶんきょう交流公演

文京シビックホール 小ホール 13:30開演

2,500円 ※5歳未満入場不可。

シビックチケット Tel. 03-5803-1111

9/10(日)東京都国立市

くにたち交流公演2017 ~特別出演 阿部好江~

くにたち市民芸術小ホール

①13:00開演 ②16:30開演(各70分公演)

大人2,800円、子ども(3歳~中学生)500円、

大人ペア券(2枚1組)5,000円

くにたち市民芸術小ホール Tel. 042-574-1515

9/16(土)東京都多摩市

鼓童交流公演 featuring 三宅島神着神輿太鼓

ゲスト:三宅島芸能同志会

パルテノン多摩小ホール 15:00開演 4,000円

パルテノン多摩 Tel. 042-375-1414

9/17(日)東京都多摩市

Concert for KIDS ~0才からの鼓童~

パルテノン多摩小ホール

①11:00開演 ②14:00開演

大人2,500円、子ども(0才~小学生)1,500円

公益財団法人ソニー音楽財団

Tel. 03-5227-5233

10/7(土)東京都三鷹市

鼓童交流公演 ~ゲスト出演 明星学園和太鼓部~

三鷹市公会堂 16:30開演

大人 3,000円、子ども(3歳~高校生)2,000円

全席自由 ※3歳未満入場不可。

鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

11/3(金・祝)岡山県津山市

鼓童交流公演 ~特別出演 坂本雅幸~

津山市加茂町文化センター 15:30開演

一般4,500円、中学生以下3,000円 全席自由

※2歳以下の方の入場はご遠慮ください。

津山市加茂町文化センター Tel. 0868-42-7031

ソロ・小編成公演

阿部好江 ヴォーカル出演

アルテ イソレラ新作公演『愛の果てに』

8/26(土)-27(日)東京都世田谷区

世田谷パブリックシアター

26日 18:00開演/27日 15:00開演

S席7,000円、A席5,500円

アルテ イソレラ Tel. 03-5453-0016

小島千絵子ソロ活動

9/3(日)京都府綾部市

小島千絵子特別出演 創作音楽舞踊劇

安寿と厨子王物語 ~悲しき親子の旅~

京都府中丹文化会館

12:30開場/13:30開演

前売 大人2,000円、高校生以下1,500円

(当日500円増し)全席自由

和太鼓ユニット「ひとつ」 Tel. 090-2018-7331

9/16(土)京都府南丹市

「和太鼓と舞の夕べ」染めと陶 二人展にて

南丹市美山文化ホール

16:30 開場/17:00開演

前売 大人2,500円(当日500円増し)、

小中学生1,000円(前売、当日とも) 全席自由

美山かやぶき美術館 Tel. 0771-75-1777

9/29(金)-10/1(日)東京都杉並区

「佐渡の清姫物語り写真展×ミニライブ」

音や金時

9/29.30 19:00開演/10/1 16:30開演

3,500円(前売、当日とも) 全席自由

ゲスト出演:向島ゆり子(ヴァイオリン)、木村俊介

(笛、三味線)、前田剛史(太鼓ほか)

宮川 Tel. 090-6043-1650

レナード衛藤 “レオ クラシックス”

9/8(金)-10(日)京都府京都市

京都FANJ 8日 19:00開演

9日 14:30、19:00開演/10日 14:30開演

前売 5,000円(当日500円増し)

ゲスト出演:藤本吉利、小島千絵子、ほか

京都FANJ Tel. 075-711-0711

9/25(月)東京都渋谷区

TSUTAYA O-EAST 19:00開演

前売 5,500円(当日500円増し)

ゲスト出演:小島千絵子、齊藤栄一、ほか

M&Iカンパニー Tel. 03-5453-8899

芸能の宝島佐渡

9/23(土)-24(日)新潟県佐渡市

両津文化会館 19:15開場 19:50開演

入場料1,000円(小学生以下無料)

出演:佐渡芸能(鬼太鼓、春駒、佐渡民謡)、鼓童

おけさと芸能の宝島佐渡実行委員会事務局

Tel. 0259-23-3300

富田和明太鼓芸能生活40周年記念公演
太鼓打ち誕生

10/15(日)東京都江東区

亀戸文化センター・カメラホール

14:30開場/15:00開演

前売5,500円(当日500円増し)

ゲスト出演:藤本吉利、藤本容子

打組 Tel. 045-913-5582

藤本容子ソロ活動

10/21(土)埼玉県越生町

Echo of Life ~藤本容子10弦ギターと唄う in 山猫軒

ギャラリー&カフェ山猫軒 17:00開場/18:00開演

前売2,000円(当日500円増し)

出演:藤本容子(唄)、富成千之(10弦ギター他)

山猫軒 Tel. 049-292-3981

11/25(土)-26(日)東京都大田区

鼓童塾同窓会Special

11/25(土) ~ワークショップ編「ヴォイス・サークル」

三和ミュージックサロン&スタジオ

「風」14:30~16:00、「夢」16:30~18:00

定員:各回20名 各回3,500円、連続参加6,000円

11/26(日) ~ライブ編「Echo of Life」同会場

14:30開場/15:00開演

前売4,000円(当日500円増し)

出演:藤本容子(唄)、富成千之(10弦ギター他)

鼓童塾同窓会事務局(担当:道見)

Tel. 03-3222-1660

山口幹文ソロ活動

10/22(日)富山県高岡市

株式会社山口久乗創立110周年記念

室生犀星原作『不思議な魚』

富山県高岡文化ホール 大ホール

14:00開場/15:00開演

前売 一般3,000円、高校生以下1,500円

(当日500円増し)

出演:山口幹文、堀つばさ、ほか

富山県高岡文化ホール Tel. 0766-25-4141

風の彩 二管の綾 其の九

出演:山口幹文(真笛/篠笛)、森美和子(篠笛)

11/3(祝)佐賀県・小城市 小柳酒造「本蔵」

11/5(日)京都府東山区 戒光寺

11/7(火)愛知県名古屋 想念寺

11/26(日)新潟県上越市 会場等未定

詳細は同封のチラシをご覧ください。

宮崎正美出演 パイプオルガンコンサート
「LIFE」~いのちは巡り、進化する~

11/2(木)神奈川県横浜

横浜みなとみらいホール 大ホール

18:20開場/19:00開演

2,000円(前売、当日とも)

出演:宮崎正美、三浦はつみ、山口とも、ほか

Project-Orb Tel. 045-331-4048

読者の皆様のコーナー

第2回目となる鼓童と読者の皆様との交流コーナー。

今回のお題は5月号で募集した藤本吉利からの「あなたにとって“太鼓”とは？」。

皆さんにとって“パートナー”であり“細胞”であり“人生そのもの”の「太鼓」。沢山の皆様からの投稿ありがとうございました！

今月
のお題

“あなたにとって
太鼓”とは？

太鼓の音で思いを語り、人と夢を語り、今を笑顔で、心豊かに生きるための大事なパートナーです。
(村上市・太田厚生さん・男・60代)

太鼓の音が聞こえると、心の中の子供(童)が跳ねる。太鼓の音はふるりの風、香り、自然と一緒に。自分の細胞のひとつです。
(佐渡市・外山かをるさん)

思い巡って太鼓は「鼓童」です。太鼓は楽器ですが、実は太鼓打ちがいて太鼓。打ち手と太鼓は2つそろって1つです。いい打ち手がいたからこそ太鼓が好きになりました。
(東京都国分寺市・あーちゃん・女・50代)

私にとって太鼓とは、音を食べさせてくれる器。目を耳をそして胸を幸せいっぱいにしてくれる嬉しいご馳走!! (新潟市・しばしばさん)



鼓童の演奏を聞いたとき、感覚すべてが刺激されるような音の豊かさが本当に衝撃的で太鼓を素敵だと思えたので、私にとって太鼓は、『鼓童』です。
(京都市・hiroさん・女・30代)

人生・感動・共鳴・出逢い

太鼓は、昔から神社仏閣の祭礼、地方の祭り、農村での雨乞い等無くてはならない、士気を上げたり、神に捧げる伝達アイテムと思い、鼓童の演目大太鼓そのものと思います。全身全霊をかけ打ち込む物が太鼓だと思います。
(愛知県豊橋市・三龍河さん・男・50代)

私にとって太鼓とは人生そのものです。7歳で太鼓を始め今年で26年目、いろんな場所で演奏をして、多くの人と出会い、異文化に触れあったりと、今の私があるのは太鼓に出会えたからだと思います。よく赤ちゃんが泣いていても太鼓の音を聞くと泣き止んだり、落ち着くのか眠ってしまったりするのを目にしたことがあります。太鼓は私達人間に不思議な力を与えてくれる、魔法の楽器かもしれません(笑)
(静岡県・小野裕也さん・男・30代)



●次号、秋号(11月)のお題は？

小島千絵子より

「あなたが考える鼓童グッズ

投稿お待ちしております!

～あんなもの! こんなもの!」

小島千絵子から楽しそうなお題が届きました!「こんなグッズが欲しいと思ってた」「こんなグッズだったら絶対買う!」など実用的なものから、奇想天外のアイデアまで、どしどしお寄せください。あなたのアイデアが採用されるかも!?

「お名前(もしくはペンネーム)」「鼓童の会会員番号」「住所」「性別」「年代」「お答え」を明記の上、メールもしくはお葉書にて[9月25日(月)]までにお寄せください。なお、お答えいただいた方に抽選で3名様に「小島千絵子サイン入り」写真集:襲の清姫物語」をプレゼントいたします。

■Email / メールアドレス: friends@kodo.or.jp

タイトルを「鼓童機関誌読者コーナー投稿」と明記の上、お送りください。

■お葉書 / 〒952-0611 佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村

「鼓童機関誌読者コーナー」係までお送りください。



鼓童オンラインストアからのお知らせ

ECグッズ好評発売中

ECグッズをオンラインストア、メールオーダーで取り扱っております。EC開催中はハーバーマーケット内のECショップとマリンプラザ2階にて販売いたします。詳しくは鼓童オンラインストアまでお問い合わせください。

EC2017 Tシャツ

EC2017 Tシャツ(S~XL)は白地にロイヤルブルーのロゴ、またはロイヤルブルー地に白の2種類です。

ホワイト、ロイヤルブルー 価格 **2,800円**(税込)



モデル着用サイズ:ロイヤルブルー(L)、ホワイト(M)

キッズTシャツ

EC2017 キッズTシャツ(100、130)はロイヤルブルー地に白のロゴで背は無地です。

価格 **2,500円**(税込)



<前>Front

ECタオル

Tシャツに合わせた色で2種類をご用意いたしました。

価格 **1,500円**(税込)

素材/綿 サイズ/約113cm×20cm

色/白地にロイヤルブルーのロゴ、ロイヤルブルー地に白のロゴ



鼓童グッズ 新商品のご案内

マフラータオルやスタンドメモなど今までになかったグッズもございます。

- 鼓童Tシャツ(蒼)……………3,000円(税込)
- 鼓童タオル……………1,500円(税込)
- 鼓童ダイカットスタンドメモ……………1,000円(税込)

■ 鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
☎0259-86-3630(販売部) <http://www.kodo.or.jp/store/>

メンバー短信

● 鼓童メンバーの小田洋介が9月末日をもって退団することとなりました。残り僅かな期間となりますが、最後まで精一杯努めてまいります。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

※なお今後メンバー短信は、鼓童ウェブサイトにて発表する場合がありますのでご了承ください。

芸能の宝島佐渡×打男DADAN佐渡公演 コラボ企画「オリジナルグッズ」進呈!

鬼太鼓や佐渡民謡など佐渡の芸能、そして鼓童をお楽しみいただける機会として好評の「芸能の宝島佐渡」。11月に行われる「打男DADAN佐渡公演」との連動企画として、両公演ともご来場の皆さんにもれなく「オリジナルミニタオル」を進呈。この機会をお見逃しなく!



芸能の宝島佐渡

■ 日時/9月23日(土)、9月24日(日)

各日19:15開場、19:50開会、21:30閉会

■ 会場/両津文化会館(佐渡市梅津2314-1) ※両津港より車で約10分

■ 入場料/1,000円(小学生以下無料)

■ チケット取扱窓口/佐渡観光協会 佐渡観光情報案内所 Tel. 0259-27-5000

■ お問い合わせ/おけさと芸能の宝島佐渡 実行委員会事務局 Tel. 0259-23-3300

打男DADAN佐渡公演

■ 日時/11月30日(木) 18:30開演

■ 会場/アミューズメント佐渡

■ 料金/S席5,000円、A席4,000円

■ チケット発売/9月15日(金) 予定

■ お問い合わせ/鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

※両公演のチケットを会場受付にご提示いただいた方にグッズ進呈

鼓童の会 会員企画 たたこう館のれんリニューアル

230人を超える会員の皆様からお名前掲載の許可をいただきました。ありがとうございます。

そして、大井キヨ子より「ケヤキと原木太鼓を刺し子で表してみたい」とのアイデアが! 完成日は決めず、制作過程

をできるだけ多くの方と楽しんでいきたいと思っています。

12月の文京公演期間に開催する「財団設立20周年記念イベント」の際、会員の皆様に(未完成かもしれませんが)お見せできるよう企画しております。



イラストはイメージです

■ 日時/12月22日(金)「打男DADAN」公演の前後(予定)

■ 会場/文京シビックセンター・スカイホール ■ 入場無料

※なお、23日は一般の方も参加いただけるシンポジウムを企画中です。

アース・セレブレーション2017

まもなく開催! 追加企画も新たに加わり、3日間をまるごとお楽しみください!



EARTH
CELEBRATION
2017

特別フリンジ (無料イベント)

8/19(土) 会場: 小木みなと公園内特設ステージ

「電子と原始」 11:50~

出演: 鼓童 坂本雅幸、阿部好江、中込健太
ゲスト/末木三四郎 (フラメンコ)

「サルサガムテープ~フリンジステージ編」 13:00~13:45

出演: サルサガムテープ、佐渡特別支援学校の皆さん、
鼓童の飛び入り参加あり

8/20(日) 会場: 小木埠頭をスタートし、小木町中へ

「サルサガムテープ~小木町パレード編」 14:00~15:00

展示企画 (無料イベント)

8/19(土)~20日(日)

展示「くらす・まなぶ・つくる展」

10:00~17:00 会場: 天南荘

鼓童 草洋介がプロデュースする意欲展示
企画をどうぞお楽しみに。

小木に着いたら、まずはEC案内所
(マリンプラザ小木)で情報をゲットし、
お楽しみください!



【半纏】鉛筆デッサン:草洋介

坂東玉三郎×鼓童特別公演

「幽玄」

5月、東京を皮切りに、連日満席の好評を博した坂東玉三郎氏との共演最新作「幽玄」。9月に博多、京都と公演が再スタートします。「自分たちだけは到達できなかった作品。ただ、玉三郎さんと鼓童とが今まで様々なチャレンジをしてきたからこそこの舞台でもあります。どこにも無い、見たことのない「洗練」という言葉が似合う『幽玄』をどうぞご堪能ください。(船橋裕一郎)。

進化を続ける鼓童と玉三郎氏が挑む、深遠な世界。どうぞご期待ください。



9月
● 公演スケジュール

9/2(土)-18(月・祝) 福岡県福岡市
(11月 休演)

博多座 14:00開演

A席16,000円、特B席13,000円、
B席10,000円、C席5,000円

博多座電話予約センター
Tel. 092-263-5555

9/21(木)-23(土・祝) 京都府京都市

ロームシアター京都メインホール

21日18:30開演 22、23日14:00開演

S席14,000円、SB席12,000円、
A席10,000円、AB席8,000円、
B席5,500円、C席3,500円

南座 Tel. 075-561-1155

最新情報は、

ウェブサイト facebook Twitter メルマガ をご覧ください。

鼓童

検索

<http://www.kodo.or.jp>

f @KodoHeartbeatJp

t @KodoHeartbeat

i @kodoheartbeat

鼓童 / (株)北前船 Tel. 0259-86-3630

■ 鼓童公演、ソロ・特別編成公演のご依頼

■ 公演依頼、ワークショップ講師派遣 heartbeat@kodo.or.jp

■ 和太鼓などの楽器、CD・ビデオ、鼓童関連グッズ、書籍販売 store@kodo.or.jp

鼓童公演のチケットについて Tel. 0259-86-2330

鼓童文化財団 Tel. 0259-81-4100

■ 鼓童の会、アース・セレブレーション等

佐渡太鼓体験交流館(たたこう館) Tel. 0259-86-2320

■ 太鼓体験(個人、団体)、見学

info@sadotaiken.jp 開館時間9:00-17:00(月曜休館)

■ 研修所資料請求 kenshujo@kodo.or.jp

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ Tel. 0259-86-3630(代) (月~金 9:30~17:00) Fax. 0259-86-3631

次号は11月10日の発行を予定しています。

KODŌ vol. 367

鼓童 2017年8月10日発行(年4回 2月/5月/8月/11月) ©発行/鼓童 〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1
Tel. 0259-86-3630 Fax. 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp <http://www.kodo.or.jp>
©発行責任者/菅野敦司 ©企画・構成/(公財)鼓童文化財団 ©デザイン・編集・印刷/(株)第一印刷所
©郵便振替/00680-2-13115 鼓童の会 年間購読料3,000円(送料/購読料は会費に含まれます)